

右ゆゑの如く致す所ののが次頁本主義の政體である。田中の説
 ん見せられた後頁全斷を以て縛つて居るが爲頁本主義の政體
 である封建時代の政體は泥構政體で次頁本主義の政體
 即ち今日の政體は欺欺政體だから不純な政體は永續
 するものがない。權力は服従が伴つて認められぬのであるが
 專斷政體は次頁本主義の政體は或るが解決すると思つ
 てゐるがこれは間違つて非之の主張は道理に合はぬのは服
 従は出来ぬといふのは服従は出来ぬ人義幸福のそと道
 理を以て居れば服従する道理を以てた權力は要らぬはな
 りといふ。政體は服従する總ての人々の幸福なる
 政體を理想とするのが非之の目的である。道徳とは社
 會の人として人義に良いといふことが道徳である。現在

は次頁本主義階級と無産階級の二階級に別かれ統一は
 せん。社會が互に支配階級と被支配階級の二つは
 ち相違する(物言)に今日の世の中は支配階級には
 社會の責任を無産階級には被支配階級は社會の責任を
 被支配階級にある。無産階級は現在の政體ははた
 虚構である。被支配階級は現在の政體ははた
 が白晝公然と盜賊を許さしめる。次頁本主義の政體は
 人類共の幸福は欠けぬことのも出来ない政體か
 行はれである。現在には道徳は互に人類幸福の社會
 が實現した場合に故に道徳があり。政體があるの
 現在には被支配階級のみの道徳があり。政體がある
 然らば世と無産階級の道徳は何かあると云ふ